

～『志』・季・折・々～

市内の美しい風景や、歴史・文化を感じさせてくれるもの等を写真でご紹介します。読者の皆様からの写真のご提供も、お待ちしております。

【今月の1枚：満開を迎えた紫陽花】

文芸

Japanese Poem of 31 syllables  
\*Haiku Poem\*Comic Haiku\*

短歌 (はなさい短歌会)

藤棚は琴の音に浮き紫陽花はアダージョに溶け影らひしめく  
湧水のほとりを行けば懐かしき蛙の声聞き元氣をもらう  
坊津の丘から望む東シナ海鑑真和上のまぼろしが浮く  
明け方の霞はるかにホトトギス来ましたぞ五月雨つれて  
湯煙り上がる大涌谷を身の細る思いしながらゴンドラに乗る  
投稿の歌まとまらぬ雨の夜や水鉢近く雨蛙鳴く  
新緑の落とす雲に密やかなリズムのあるを息凝らし聴く  
窓ごしに見える隣の枇杷の木の実は色づいて句のときめき  
温泉で肘テコにして脚浮かすとふんわり浮いてわれ苦笑気味  
軒先の番のツバメは新婚さん仮契約して巣作り開始

短歌 (南船志布志短歌会)

山ざくら寅さんみたいに散りたいがもう少し待つて恋をしてるから  
早春の里の水田に雲ひとつ揺れて田植の始まりを告ぐ  
はからずも誕生日に訪ひくるる息子は病院の門前に待たず  
庭木々に小鳥群れ来て病む吾に話してくるる野や山の事  
若草のかくも静かに萌え出でて春の光は地表より来る  
昼餉どき羽ばたく音に番鳩飼ひ慣らされし直さに遊ぶ  
朝なさな安否気づかふ娘の電話声に安らぎひとりを生きる  
娘らの卒業記念に贈りし桜満開の庭は閉校式となり  
春うらら老人カーを押し行くも慣れし前向き望みかけいる  
青き空うすくれないに染め上げて緋寒桜の命花燃ゆ

南 史郎

江蔵 成子

渡辺クミ子

内山 幸夫

東郷ミイ子

牧 愛子

篠田 紀子

江口さくら

中園 茂甚

有馬ケイ子

川柳 (志布志川柳会)

花盛り 心知らぐ 垣根越し  
新緑の 萌える元気が うらやまし  
かまつてよと背中向ける 娘が愛し  
志布志売る 両千代関に テレビ湧き  
人情に 負けて背負った お人好し  
親の背を 子が見て子の背 孫が見る  
親の背は 見ていなかった ドラ息子

高田 昭秋

赤池 忠重

上東マキエ

末永 一雄

江藤 房子

高田 秀雄

内山 幸夫

暉峻 康瑞

池ノ上一枝

林 静子

平川 澄子

益倉 睦美

松下 芙美

宮原 順子

山田 和子

山元ハツミ

若松田鶴子